

No.	質問箇所	該当箇所	該当文	質問事項	回答
1	実施要領	11(3) プレゼンテーション実施要領	プレゼンテーション内容：企画提案書に則したプレゼンテーション	プレゼンテーションにおいて、企画提案書の内容を補足するために、実際に提案するシステム（申請画面やダッシュボード等）のデモンストレーションを実施することは可能でしょうか。	提案時間である30分以内であれば問題ありません。
2	仕様書	5-1(1) 対象手続きの整理	住民基本台帳業務及び福祉業務（子育て支援・児童福祉・母子保健等）の中からデジタル化する手続きの範囲を整理すること。	本業務期間中（令和9年3月19日まで）に、実際にデジタル化（オンライン申請化）を完了し、住民向けにリリースすることを想定している手続き数の目安（概数）はございますでしょうか。	住民起点のサービスデザインやバックヤード業務整理・担当課からのヒアリング等を通して手続きを検討していく想定です。
3	仕様書	5-2(3) ツールの調査・選定・調達	オ RPA等ツール：LoGoフォームから出力したCSVデータを基幹システムに自動入力するためのもの	RPAツールを導入して基幹システムへの自動入力を行うにあたり、RPAを実行するための端末（PC）やサーバー環境は本町にてご用意いただけるのでしょうか。それとも、本業務の経費内で調達・手配が必要でしょうか。	端末（PC）はこちらで用意することは可能ですが、サーバ導入は予定しておりません。
4	仕様書	5-6 キ プロジェクト管理	本町職員を対象として、プロジェクトマネジメント、クリティカルシンキング及びロジカルシンキングに関する基礎的な研修又はレクチャーを実施し、職員が自ら業務改善を推進できる組織的素地の形成を支援	業務終了後の「町職員が自ら運用改善を行える状態」について、どの程度のスキル習得をゴールと想定されていますでしょうか。（例：既存フォームの軽微な修正ができるレベル、新しい手続きのフォームをゼロから作成・公開できるレベルなど）	職員がプロジェクトマネジメントの基本的な考え方やロジカルシンキング、クリティカルシンキングを理解し、課題を整理して動ける状態を目指します。規模の大小問わず、職員が自ら課題に気づき、その原因を整理し、改善方法を考えて実行できるようになるような行動変容の素地の形成を想定しています。
5	仕様書	5-7 ツール導入に係る経費	以下のツールの導入費用を本業務の経費に含めること。ア デジタルID (xID) イ デジタルポストウ デジタル申請関連エ 分析ツール (BI ツール等) オ RPA等ツール	本業務の経費に含める「導入費用」には、初期構築費用のほか、本委託期間中（令和9年3月19日まで）の「ランニングコスト（月額・年額利用料等）」も含まれるという認識でよろしいでしょうか。	お見込みのとおりです。
6	仕様書	5-7 ツール導入に係る経費	以下のツールの導入費用を本業務の経費に含めること。	委託期間終了後の次年度以降に発生するSaaS等のランニングコストについては、本町にて別途予算措置されるという認識でよろしいでしょうか。	お見込みのとおりです。
7	仕様書	8(2) その他特記事項	受託者は、本業務の全部を第三者に再委託してはならない。	複数の企業で構成される「共同事業体（JV）」としての参加は認められますでしょうか。認められる場合、代表者要件や構成員の制限等はございますでしょうか。	「共同事業体（JV）」は想定しておりませんが、業務の一部を再委託することは可能です。
8	評価基準書	3-3(1)② 経験・実績	フロントヤード改革に係る実績1件：2点、2件以上：4点の加点	加対象となる「フロントヤード改革に係る実績」とは、総務省のモデルプロジェクト等で「フロントヤード改革」と銘打たれた案件に限られますでしょうか。それとも、同等の内容（窓口DX、オンライン申請導入、BPR支援等）を含む自治体DX支援業務全般が含まれますでしょうか。	総務省のモデルプロジェクト以外でも、同等の内容を含む内容でしたら、実績とします。ただし、単なる窓口システムやオンライン申請の個別導入ではなく、住民接点の再設計とそれを支えるバックヤード業務改革を一体的に支援した実績を同等の内容とします。
9	評価基準書	3-3(2)② 効果的な支援	本町との適切な役割分担のもと、本町の負担軽減に配慮した支援体制（定例会議の頻度、現地・リモートの方針等）	プロジェクトを推進するにあたり、町側の実務担当者（窓口となる方）は何名程度の体制を想定されていますでしょうか。また、その方々は他の通常業務と兼務される前提でしょうか。	2名（兼務）の予定です。
10	評価基準書	3-3(3)③ サービスデザイン	LoGoフォーム・xID・デジタルポストを中心としたシングルソース型の全体設計が技術的に実現可能で合理的か。	評価基準に具体的なツール名が記載されていますが、これらを利用することが高評価の必須条件でしょうか。同等以上の機能を有するプロダクトを用いた構成を提案した場合、評価において不利になることはございますでしょうか。	仕様書に記載のとおり、デジタルIDについてはxID、デジタル申請についてはLoGoフォームといった既に導入済みのツールを最大限に活用し構築する方針としているため、他のデジタルツール等は想定しておりません。